

## 令和4年度第1回春日井市地域自立支援協議会に係る事前質問

質問者	資料No.	質問内容
牧瀬委員		<p>①資料9-2の春日苑の記述内容について 福祉－医療間の連携の現状について教えていただきたい。</p> <p>②資料9-2のしゃきょうの記述内容について インフォーマルな資源の不足を補っていく具体的なプランがあれば教えていただきたい。</p>
浅野委員	<p>9-1 (P. 17)</p> <p>・</p> <p>9-2 (P. 18)</p>	<p>③あっとわんの傾向と所管 『福祉サービスだけではない・・・コーディネート力が求められている』の生活を支えるということは具体的にどういったことか。 重い子、軽い子とは、どういう観点からの重い子、軽い子なのか？ また、受け入れが難しいという実態は、事業所のどのような状況によるものか。</p> <p>資料9-2 あっとわんの記述に関して、相談員の方々の中で共有できているか？ また、サービス提供側の事業所は、そのような保護者の困惑に対して、認識を持っていか？ とても大切なことが述べられていると感じました。</p>
服部委員 (感想)		<p>障がい者生活支援センターあっとわんの相談の傾向と所感の中に比較的障がいの重い子を多く受け入れている事業所の空きが少なく、利用事業所を決めるまでに複数の事業所へ問い合わせをする必要があったとの記載があります。市内にこれだけたくさんの放課後等デイサービス事業所がある中でそのようなことが起こるのは驚きです。障がいの程度に関係なく受け入れてくれる事業所が増えてくれることを願います。</p>
坂田委員	-	<p>昨年度から参加しており、市の福祉に関わる包括的な会であると認識しています。会があまりにも大きく子どもに関わることをどうお伝えしてよいか難しいところがあります。中央では、子ども家庭庁もできることから、子どもを軸として関係諸機関で話し合う時間、場があると有難いです。</p>